

# Visionista

VOL.02

2023 | winter

[ヴィジヨニスタ]

## 受入企業Interview

- 黒澤工業株式会社
- 松栄工業株式会社
- 株式会社東京志村
- 株式会社兼藤
- 株式会社ハヤブサコーポレーション
- 株式会社隼ビルド

# 次の スター社員は、 世界にいる!

わたしの視点  
IDEAS COLLECTION  
J-Report  
Future  
となりのホンネ

Visionista

[JAC特定技能導入事例集]

VOL.02 2023 | winter

2023年2月1日発行

発行：一般社団法人建設技能人材機構 管理部 〒105-8444 東京都港区虎ノ門3丁目5番1号 虎ノ門37森ビル9階  
編集：〒105-8444 株式会社KeyProCreative 取材：株式会社KeyProCreative 印刷：大村印刷株式会社



一般社団法人  
建設技能人材機構  
Japan Association for Construction Human Resources

本誌掲載内容の無断転載を固く禁じます。

「Visionista」に関するご意見・ご要望

MAIL : info@jac-skill.or.jp

ホームページはこちら  
<https://jac-skill.or.jp>





VOL.02  
2023 | winter

CONTENTS



#### 受入企業 Interview

05 人生をかけ来日している彼らを受け入れた以上は、  
最後まで面倒を見る  
黒澤工業株式会社

07 仕事もできれば 場の雰囲気も汲みとれる。  
だから任せられる！  
松栄工業株式会社

09 心を込めて接すれば 必ずうまくいく、  
世界の優秀な人材に期待！  
株式会社東京志村

11 未来のミャンマーのため 兼藤で培った技術を  
幅広く役立ててほしい  
株式会社兼藤

13 彼らの思いに応え、母国へ無事帰国させる。  
それが我々の「責任」です  
株式会社ハヤブサコーポレーション 株式会社隼ビルド

#### わたしの視点 ～my point of view～

19 彼らの気持ちがわかるからこそ、できるだけ一緒に考えてあげたい  
黒澤工業株式会社 管理部安全課 課長 小林 有希子 氏

21 文化や習慣の違いはお互い様、だから理解し合うことが必要なのです  
株式会社兼藤 リニューアル三部 係長 伊藤 一敏 氏

23 彼らはロボットではない、伸び伸びと育ててあげてほしい  
株式会社ハヤブサコーポレーション 株式会社隼ビルド  
統括責任者 岡本 啓志 氏

「特定技能外国人制度」の施行により、建設企業において外国人材を「現場を支える技術者」として受け入れ、育成する取組みが広がっています。そんな中、外国就労者の技能向上への日々の研鑽・取組みを応援することを目的にしたのが「Visionista」です。全国各地の企業を取材し、参考になる事例やアイデアなどを収集・紹介しておりますので、ぜひご活用ください。

15 困った時に活用したい  
IDEAS COLLECTION

17 J-Report  
in 利根沼田テクノアカデミー

#### 外国人材の建設キャリア Future

25 TRAN VAN HA/ハーさん

27 SOE KHANT MAW/サトシさん

29 アンケートから読み取る  
となりのホンネ



Visionista [JAC特定技能導入事例集]



# Visionista

[JAC特定技能導入事例集]

Visionista(ビジョニスタ)とは

思い描いた夢と情熱を胸に海を渡り、  
未来を切り開こうとする者たちがいる。  
そんな挑戦者たちを支え、ともに歩もうとする企業がある。

今、それぞれのビジョンが交差する。

25X24  
PF-5  
外R

# #01 黒澤工業株式会社



## 人生をかけた来日している

茨城県の黒澤工業株式会社では、2015年から外国人の受入れを開始し、現在も多くのベトナム人を雇用しています。同社代表の黒澤さんとベトナム人5名の声をご紹介します。(2022年9月29日取材)



### 受入企業 Interview

代表取締役  
黒澤 克之氏

— 受入れを決めた理由は？  
当社はマンパワーを必要とする会社です。若手入職者を増やす選択肢として、外国人を雇用することに迷いはありませんでした。ただし、当時はまだ多くの建設会社が外国人の受入れを躊躇している時期でした。その点では、関東でも早々に受入れを決めた先駆的な存在だったと思います。

— 受け入れて良かった点は？  
彼らは日本の文化も言葉もわからないまま来日して、そんな中でもモチベーション高く仕事をしています。その姿が日本人の社員にとって良い手本になりますので、すごく刺激を受けました。また、ベトナム人は陽気な性格が多く、社内が明るくなりました。

— 受入れ後の工夫や、気をつけていることは？  
彼らの人生を背負うという意味では、できるだけ安心して働けるように手を差し伸べたり、アドバイスしたりすることは非常に大事だと思っています。当社でも受入れを開始した当初は、知り合いの通訳の方をお願いし、1年間ほど生活面でサポートしてもらっていました。その後も社内サポート役をおくなど、コミュニケーションはかなり密にとっています。

— 導入予定の企業へメッセージをください。  
お伝えしたいことが2つあります。まず1つ目は、みなさんが思っているより外国人の受入れはそれほどハードルが高いものではないということ。これは実際に受け入れた私の感想です。そして2つ目が、とはいえ日本人を雇用するわけではないので、彼ら一人ひとりの人生を背負ってほしいということ。大切に育てれば、彼らはきっとみなさんの力になってくれます。

企業プロフィール  
所在地：茨城県笠間市安居2891-1  
事業内容：ダクト工事/空調設備工事/産業空調設備工事/板金製作/製缶製作など  
従業員数：52名（内：特定技能5名 技能実習9名 すべてベトナム人）  
Website: https://www.kurosawa-ind.co.jp

初期導入：寮の確保(Wi-Fi環境あり)  
希望者には原付バイク支給 ※免許取得は自己負担 など

給与体系イメージ  
・ 特定技能(月額基本給) 約21~28万円  
※技能習熟等に応じた昇給あり  
・ 技能実習(月額基本給) 約17~20万円

# 彼らを受け入れた以上は、最後まで面倒を見る

### 現場で働くみなさんの声

日本での仕事や生活、また職場環境について、特定技能1号として働くベトナム出身のハンさん、グエンさん、タインさん、カーイさん、ハーさんにお話を伺いました。

ハンさん



母親から勧められて来日を決めたという、親思いのハンさん。夢は、特定技能2号になって、家族を日本に呼び寄せること。「夏だったら日本の海へ連れていきたいです。冬だったら温泉がいいですね」。



いつかは家族に日本のすばらしさを伝えたい！

グエンさん



農業大学に合格していたものの、家畜の病気が流行し始めたことがきっかけで、将来の仕事に危機感を覚え、来日を決めたとか。「日本でしっかりと技術を身につけ、ベトナムで起業するのが目標です」。



日本で手に職をつけ、母国で起業するのが目標です

タインさん



「日本には景色の良い場所がたくさんあり、親切な人も多いと知り、楽しみにしてきました」。実際はどうだったのか。「会社の人たちにはいつも助けてもらっています」と、笑顔で答えてくれました。



たくさんの魅力を体感したくて、日本で働くことを決めました！

カーイさん



収入に魅力を感じて来日したカーイさん。日本での大きな出来事は、彼女を見つけたことです。「もう少しお金を貯めたら彼女と結婚したいです。母国の田舎で安定した生活をするのが夢ですね」。



夢はベトナムでの田舎暮らしです！

ハーさん



仕事での楽しみは日本各地に行けることで、中でも印象的だったのが、山梨県の現場で見上げた富士山。「美しさと大きさに驚きました」。フルーツが大好きで、千葉県のリンゴが絶品だったそうです。



仕事で全国各地を回るのが何よりの楽しみ！

# #02 松栄工業株式会社



## 仕事もできれば 場の

偶然にも求人に応募してきたベトナム人を採用したことから、彼らの人柄や能力の高さを知り、受入れを始めた埼玉県の松栄工業株式会社。国籍を超えた「関係性の良さ」が強みとなっている。そんな同社代表の船橋さん、そして現場で活躍するベトナム人2名の声を紹介します。(2022年6月29日取材)



### 受入企業 Interview

代表取締役社長  
船橋 数晃 氏

#### — 受入れを決めた理由は？

もともと2014年から、設計士としてベトナム人を一人雇用していました。彼の働きぶりはすばらしいもので、仕事もできれば数字にも強く、雰囲気も汲みとってしてくれる。これほど優秀ならきっと他のベトナム人も優秀だろうという期待と、ベトナム人設計士が少しでも働きやすいように同郷の人たちを雇用してあげたいとの思いから、2015年に外国人技能実習制度の利用を始めました。

#### — 受け入れて良かった点は？

仕事へのモチベーションの高さには驚かされました。もちろん個人差はありますが、彼らの特徴として仕事に対する勘が良いのです。基本的に彼らは仕事を覚えようと覚悟を持って来日しているので、どんな作業にも臆することなくチャレンジしてすぐに習得してくれます。

#### — 受入れ後の工夫や、気をつけていることは？

ベトナム人は年功序列ではなく、入社時期が早い人を先輩として扱います。そのため、たとえ年長者でも後に入社すれば、年下の人たちから後輩扱いされてしまいます。ただ、やはり歳の差が離れた年下に指示されるのは、あまり気分の良いものではないはず。そこで、現場で一緒に組ませる人員は、年齢差や性格などを踏まえて考えるようにしています。

#### — 導入予定の企業へメッセージをください。

彼らは母国を離れて日本でがんばっています。そうした姿を見ていると、会社として生活をサポートすることに喜びを感じますし、個人的にも成長していく様子が何よりもうれしい。日本人の中には、彼らに不信感を持つ人もいます。でも「自分がまったく環境の違う国で働くことになったら」。そう考えると、何をしてくれるべきかが見えてくると思います。

#### 企業プロフィール

所在地: 埼玉県比企郡ときわ町玉川1739-4  
事業内容: 鉄筋ガス圧接工事/エンクローズ溶接工事/フレアー溶接工事など  
従業員数: 60名 (内: 特定技能2名 技能実習3名 すべてベトナム人)  
Website: <http://www.shoei-ind.co.jp>

初期導入: 寮の確保 生活家電一式 など

#### 給与体系イメージ

・ 特定技能(月額基本給) 約25万円～  
※資格取得毎に昇給あり・各種手当あり  
・ 外国人建設就労者(月額基本給) 約22万円～  
・ 技能実習(月額基本給) 約19万円～

# 雰囲気も汲みとれる。だから任せられる!

アインさん



ベトナムにいる両親や兄弟たちへ仕送りをするため、日々仕事をがんばっているアインさん。会社が用意してくれた一軒家で寮生活をしています。「寮では同じベトナム人の仲間がいるのでさびしくありません。週末には会社の日本人とお酒を飲むこともあって、にぎやかで楽しいです」。その笑顔からは、社員同士の仲の良さが伺えました。



職場の雰囲気のよさが心の支えとなり、日本での仕事も生活もがんばれる!

### 現場で働くみなさんの声

日本での仕事や生活、また職場環境について、特定技能1号として働くベトナム出身のアインさん、ヒエップさんにお話を伺いました。

ヒエップさん



ヒエップさんは日本語が得意で、現場では職人さんと打ち合わせができるレベルだそう。会社からの信頼も厚く、いつも一緒に作業を行う先輩の長瀬さんを「お父さん」と呼び、コンビネーションもバッチリとか。「日本にきたばかりの頃からやさしく仕事を教えてくれたのがお父さん。これからはずっとコンビを組んでいきたいです」。

やさしく仕事を教えてくれた「お父さん」の期待にこれからも応えたい!



# #03 株式会社東京志村



企業プロフィール  
 所在地:千葉県習志野市袖ヶ浦1丁目12番7号  
 事業内容:建築工事業/内装仕上工事業など  
 従業員数:20名 (内:特定技能5名 技能実習3名 すべて中国人)  
 Website:https://www.tokyoshimura.com

給与体系イメージ  
 ・特定技能(月額基本給) 約21~26万円  
 ※技能習熟等に応じた昇給あり  
 ・技能実習(月額基本給) 約16~19万円

初期導入:寮の確保(Wi-Fi環境あり) 生活家電、生活用品支給 車両確保 など

## 心を込めて接すれば必ず

千葉県にある株式会社東京志村では、1996年から受入れを開始し、現在も多くの中国人を雇用しています。今回は、同社代表の伊東さんと中国人のテキさんの声をご紹介します。(2022年11月29日取材)



## うまくいく、世界の優秀な人材に期待!

### 受入企業 Interview

代表取締役  
伊東 弘樹 氏

#### — 受入れを決めた理由は？

受入れをスタートしたのは1996年でした。当社はその頃、人材に困ることなく、日本人の若手も多数雇用していました。ですが、先代の社長だった父は「今後、必ず人材不足になるはず」と考え、まだ業界でも浸透していなかった外国人の受入れにいち早く着手したそうです。

#### — 受け入れて良かった点は？

毎年、必要な人員を確保できることは大きなメリットです。もちろん来日したばかりは言葉や仕事を覚えるところからスタートしますが、2年もすればほとんどの外国人が十分な力をつけてくれます。これからは特定技能にまで育てられれば、会社にとってはもう大戦力です。

#### — 受入れ後の工夫や、気をつけていることは？

採用方法についてはかなりこだわり、工夫しています。現地での面接では簡単な作業をしてもらうのですが、重視しているのは技術や日本語のレベルではなく、片付けです。試験が終わったら「みなさん、片付けてください」と声をかけ、私はわざとその場からいなくなる。その時、手を抜かずに片付けをする人は間違いなく伸びます。結局、真面目な人が一番成長するんです。

#### — 導入予定の企業へメッセージをください。

建設業は、日本人だけでは成り立たない業界になると考えています。それなら、日本人の若手に加えて世界から優秀な人材を受け入れたほうが未来は明るい。私が目指しているのは、当社をラグビー日本代表のように、世界のスター選手を集めた組織にすることです。来年からは新しくインドネシア人を迎え入れる予定で、また一歩夢に近づくことができるとワクワクしています。

### 現場で働くみなさんの声

日本での仕事や生活、また職場環境について、同社に在籍する特定技能2号のテキさんと現場管理者の大崎さんにお話を伺いました。

テキ シコク 翟 志国さん

日本で働くことや生活することに難しさは感じていないようで、意外とスムーズに馴染めたとか。「日本は漢字を多用するので、文字を見るとある程度は意味がわかるんです」。テキさんと伊東社長が以前から目標にしていたのが特定技能2号の取得で、2022年に全国で二番目に取得しています。テキさんの今の目標は、家族と一緒に暮らすこと。「大学生になる娘にはいつか日本へ来て、自分の好きな仕事を見つけてほしい。そして私と同じように、チャンスをつかむことを願っています」。



大崎 史朗氏 先輩社員

1996年から約140人の中国人を受け入れてきました。私は主に職長として彼らに直接仕事を教える役割を担っています。当初は、現場で私がまず見本を見せて、それを真似させる方法で教えていました。ですが、人数が増えてくると、一人ひとりに教えることは難しくなります。そこで、日本語を覚え始めた中国人に「これを教えて」と伝え、先輩が後輩を指導するスタイルを確立したことで、ずいぶん作業的には楽になりました。

特定技能2号になった今、娘にも日本でチャンスをつかんでほしい!

先輩が後輩を指導するスタイルを確立!



# #04

# 株式会社兼藤

企業プロフィール  
 所在地: 東京都品川区旗の台6丁目28番8号  
 事業内容: 内装工事/改修工事/外装工事/駐車場工事/建築工事/企画・設計など  
 従業員数: 45名 (内: 特定技能4名 技能実習14名 すべてミャンマー人)  
 Website: https://kipto.co.jp

給与体系イメージ  
 ・ 特定技能(月額基本給) 約26万円  
 ※技能習熟等に応じた昇給あり  
 ・ 技能実習(月額基本給) 約20万円

初期導入: 寮の確保(Wi-Fi環境あり) エアコンやテレビなどの生活家電  
 生活指導員・監理団体(登録支援機関)の通訳・講師 など

# 兼藤で培った技術を幅広く役立ててほしい

# 未来のミャンマーのため

東京都の株式会社兼藤では、2015年から外国人の受入れを開始し、現在も多くのミャンマー人を雇用しています。今回は、同社代表の安藤さんとミャンマー人4名の声をご紹介します。(2022年10月24日取材)



## 受入企業 Interview

代表取締役副社長  
安藤 豪 氏

### — 受入れを決めた理由は？

当社は職人を直用しておらず、先代から個人の業者と提携して事業を展開していました。しかし、これまで付き合いのあった職人や親方が徐々に引退していき、次の世代が育っていないという問題に直面したのが今から10年前になります。それで外国人の受入れに本腰を入れました。

### — 受け入れて良かった点は？

実は、当社と提携している40代、50代の職人たちは、若手を育てた経験が少ないという問題を抱えていました。それが、当社のミャンマーの若者たちを直接指導することで育成のスキルがアップし、提携先でも若手が増え始めるという意外な相乗効果にもつながっています。

### — 受入れ後の工夫や、気をつけていることは？

ミャンマーは「微笑みの国」と呼ばれる通り、温厚な気質の人が多いようです。だからこそ、現場で叱られたりすると、ひどく落ち込んでしまうことがあります。中には、どうしてもかわからず、微笑み返してしまう人も実際にいました。そうしたことで誤解が生まれないように、国民性や文化の違いなどを日本人の従業員たちにも共有するようにしていました。

### — 導入予定の企業へメッセージをください。

建設業界にはまだまだ優秀な人材が必要です。しかし、私どもの職種においては、職人たちがどんどん廃業や転職をしていき、目に見えて人材が減ってきています。今後、このような状況を改善するにはどうすればよいか。真剣に考えれば考えるほど、外国人の受入れは必然なのではないでしょうか。もし困っているのであれば、ぜひチャレンジしてほしいと思います。

### トゥ アウンさん



日本のクロス技術をミャンマーに伝えたいと来日したアウンさん。今では日本を第2の母国に感じています。「家族と一緒に日本でよい人生を送りたい。そのためにもっと仕事をがんばります！」。

今では日本が第2の母国、この国でよい人生を送りたい！

### アウン ジン ピョさん



日本の文化の中で特に興味があったのが大仏だったそうです。「ミャンマーにも世界第2位の大きさを誇る仏像がありますが、牛久大仏も大きすぎて驚いた。日本もなかなかやりますね(笑)」。

日本の大仏もミャンマーに負けず劣らず、大きすぎて驚きました！

### 現場で働くみなさんの声

日本での仕事や生活、また職場環境について、特定技能1号として働くミャンマー出身のトゥ アウンさん、テツ ナイン トンさん、アウンジン ピョさん、ソー カツン モウさんにお話を伺いました。

### テツ ナイン トンさん



来日当初、ミャンマーの先輩たちがやさしくて心強かったというテツ ナイン トンさん。夢は自国で内装会社を立ち上げること。「ミャンマーでもクロス需要が増えてきているので貢献したいです！」。

日本で技術を磨き、クロス需要が高まるミャンマーで活躍したい！

### ソー カツン モウさん



日本語が堪能で、日本人との日常会話もまったく問題ないレベルです。今は日本語能力試験1級を目指し勉強中。また、運転免許を取りたいそうで「いつかは日本の高級車に乗ってみたいです！」。

目指すは、「日本語能力試験1級」取得！

# #05

## 株式会社 ハヤブサコーポレーション 株式会社隼ビルド

# 彼らの思いに応え、母国

# へ無事帰国させる。 それが我々の「責任」です

岡山県の株式会社ハヤブサコーポレーション・株式会社隼ビルドでは、2004年から受入れを開始し、現在も多くのベトナム人を雇用しています。今回は、統括責任者の岡本さんとベトナム人5名の声をご紹介します。(2022年7月23日取材)

企業プロフィール  
所在地:岡山県倉敷市帯高171  
事業内容:とび・土工/土木/塗装  
従業員数:36名 (内:特定技能5名 技能実習11名 すべてベトナム人)  
初期導入:寮の確保 生活家電一式 調理器具の提供 Wi-Fi環境の整備 など

給与体系イメージ  
・特定技能(月額基本給) 約33万円～  
賞与:20～30万円/年  
・技能実習(月額基本給) 約17～30万円  
賞与:15～20万円/年  
※技能習熟等に応じた昇給あり



### 受入企業 Interview

統括責任者  
岡本 啓志 氏

— 受入れを決めた理由は？  
知り合いから受入れ事業についての話を聞いて、外国人材を育成する取組みに興味を持ったのがきっかけです。最初に中国人を受け入れたところ、日本人に負けず劣らず仕事熱心で、そのがんばりは目を見張るほどでした。それからは毎年、外国人を受け入れています。

— 受け入れて良かった点は？  
海外から働きにきている方たちは、とにかくハンガリー精神があります。当社では、技術レベルによる昇給制度を設けていて、それが外国人のモチベーションアップにつながっています。すると、それを見た日本人も負けじとがんばり、お互いに良い相乗効果が生まれています。

— 受入れ後の工夫や、気をつけていることは？  
まず大切だと思っているのが、近隣に対して迷惑をかけることです。地域の清掃活動があれば早朝から掃除を始めて、町内の方々が家から出てきた時には終わらせておく。町内の収入になる廃品回収があれば、どこよりもたくさん集めて出す。そうした地道な活動が近隣の方々の理解を呼ぶので、地域に貢献できることを進んで行っています。

— 導入予定の企業へメッセージをください。  
彼らは日本で自分なりに精一杯努力していると思います。それはなぜかと言えば、自分の将来のため、国で待っている家族のためでしょう。そうした思いを持つ彼らを受け入れる以上、理解してあげようと歩み寄り姿勢が必要です。まずは彼らの国を知るために、現地へ足を運ぶことから始めてはいかがでしょうか。

### 現場で働くみなさんの声

日本での仕事や生活、また職場環境について、特定技能1号として働くベトナム出身のキエウさん、トンさん、ニャンさん、クオンさん、ヒップさんにお話を伺いました。

キエウさん



来日当初は、ベトナムと日本での仕事のルールの違いにかなり戸惑ったようで「日本の建設業はルールが厳しい。でも、その分、安全に働いています」。母国の家族を支えたい一心で、日々、現場で汗をかいています。



母国の家族を支えるため日々努力!

トンさん



「仕事から帰って、ベトナムにいる妻とテレビ電話をするのが日課です」。出会いは日本で、Facebookを通じて知り合ったのがきっかけとか。家族のためにもまだまだ日本でがんばりたいと語ってくれました。



愛する家族のために今は日本でがんばる!

ニャンさん



ベトナムで鷹の会社を作りたいというニャンさん。「日本の建設業はとても技術が高く、何よりも安全。鷹の仕事は大変だけど、この会社で学んだ技術を母国でも活かしていきたいです」。



夢はベトナムで起業すること!

クオンさん



岡山は夜になると街にひと気がなくなるそうで「ベトナムの若者は夜になると街へ出るので、たまに人恋しくなります」。今は休日に友人の家で、日本の瓶ビールを飲むのが何よりの楽しみです。



日本での生活を満喫しています!

ヒップさん



岡山県の風土が何よりもお気に入り。「岡山は人もやさしくて、日本のことなら何でも大好きになりました」。瀬戸内海でとれる海鮮が特においしいそうで、たこ焼きも大好物だそうです。



技術を学び、母国の日系企業で働くのが目標です!



# 困った時に活用したい

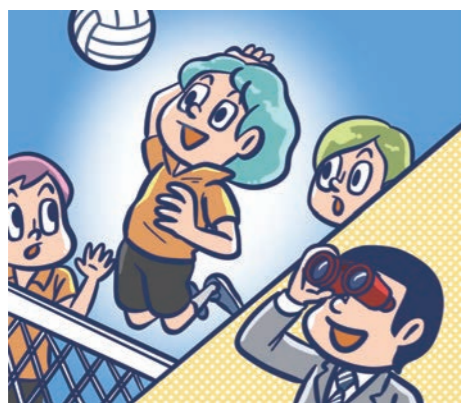
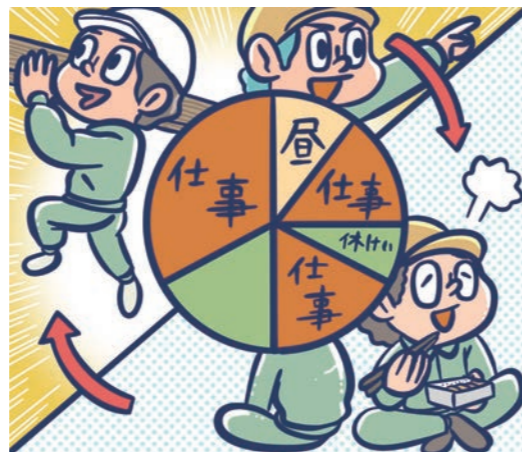
# IDEAS COLLECTION

初めて受入れをする企業にとって、外国人と仕事をし、住まいを提供するのは不安なものです。そこで、実際に受入れをスタートしている企業が、実践しているコミュニケーションのコツや教育方法など、さまざまなアイデアを紹介します。



## 作業時間をハッキリ伝える

**国** によっては時間に対してルーズで、日本人のように作業時間に則って規律正しく働くことに慣れていない外国人もいます。そこで、「ここまでいったら休憩しよう」など、時間を明確に指示することは、彼らにとって働きやすさに通じるはずです。



## スポーツでやる気を見る

**面** 面接にこちらの質問に対して、答えを用意してくる人は多く、性格ややる気までを見抜くことは難しいです。そこで、現地でバレーボールなどスポーツをしてもらい、そこでどれだけ自分をアピールしてくるか。それを見て採用の判断をしている企業があります。

## コミュニケーションはSNSで

**日** 本にきたばかりの頃は日本語での会話が難しいので、FacebookメッセージなどSNSを使い、文章でコミュニケーションをはかると、外国人の伝えたいことを誤解なく理解することができます。母国語でメッセージを送ってもらい、それをネットで日本語に自動翻訳するだけなので手間もかからないでしょう。



## 「家族」の会話は盛り上がる

**海** 外では家族を大切にする人が多いので、家族のことを話題にするのも一手。母国にいる家族について聞くのはもちろん、こちらの家族について話すことも大事で、「あなたのお母さんは何してるの?」「私のお母さんはこうだよ」と、お互いに紹介すれば親密度も高まるはずですよ。



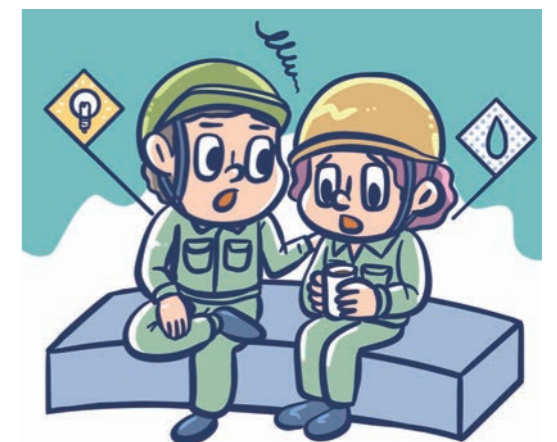
## 地域の方言でコミュニケーション

**基** 本的に送り出し機関では標準語を教えますが、実際に働く場所では方言を話すことも少なくありません。彼らにとって標準語以外はほとんど初めて聞く言葉になり、困惑させてしまうことも。そこで、あらかじめ方言についても教えると、コミュニケーションがぐっととりやすくなります。



## 不満をしっかりと聞く

**来** 日したばかりの外国人は、言葉や慣習の違いなどにより、不満やストレスを抱えています。会社で顔をあわせたら「今日はどうだった?」と声をかけたり、少し悩んでいそうならしっかりと時間を設けて状況を聞いてあげたりするなど、細かなケアがのちのトラブル回避につながります。



アイデア  
募集中!

## テーマ「外国人の体調管理」

みなさんが現場で実践している熱中症対策や、夏に限らず外国人の体調管理についてのアイデアをお聞かせください!

他にもさまざまなジャンルでアイデアを広く募集しています。採用されたアイデアは次号掲載させていただきます。

アイデア投稿フォームはこちら

[https://questant.jp/q/visionista\\_ideas](https://questant.jp/q/visionista_ideas)





# J-Report

in 利根沼田テクノアカデミー

所在地:群馬県沼田市利根町日影南郷335-1

一般社団法人 利根沼田テクノアカデミーでは、廃校になった小学校を活用し、建設業の担い手確保を目的に人材育成を行っています。板金、瓦、大工、設備、左官とさまざまなコースを用意。各団体が連携し、専門工事業種の技能や知識、また安全管理を現場に出る前に身につけることができます。今回は技能実習生向けのコースを取材しました。



## INSTRUCTOR 講師紹介

講師の渡邊さんに、外国人に指導する際の工夫や心掛けていることについて伺いました。



講師(設備)  
渡邊 清勝氏

**教え方はいたってシンプル  
専門用語を使わず  
「やってみせて、やらせてみる」**

利根沼田テクノアカデミーへ学びに来るほとんどの生徒が、建設業未経験者です。たとえ同じ日本人でも、専門用語や道具の名称はわかっていません。その点は外国人と同じなのです。外国人だからと特別扱わずに、基本的な教え方は「やってみせて、やらせてみる」。言葉も「押す」「引く」「回す」と単語で説明していくうちに、徐々に意味を理解してくれます。

**事故につながる行為には  
大きな声で「危険」だと強く伝える**

来日したばかりの外国人を教える中で、事故につながる行動や間違いについては、強く

伝えることが非常に重要だと思っています。なぜなら、言葉が通じないのに「気をつけてね」とやさしく言っても危険度が伝わらないだけでなく、反対に「自分はいいことをしているんだ」と、勘違いさせてしまうこともあります。悪いことは悪いと、しっかり明確に大きな声で表現してあげることが大切です。

**訓練の場所でしっかりと経験させる  
それこそが安全対策**

実際に会社で働き始めたら、やさしい先輩もいれば厳しい先輩もいます。また、ひとたび現場に出れば、他の業者の方とも、同じ環境で作業をすることにもなります。集団の中で仕事をし、生活するからこそ、想定される危険な状況や、注意の表現なども教えておきたい。それが私にできる安全対策です。

## Trainee's VOICE 訓練生の声



★ ハウさん  
(ベトナム)

**夢はベトナムで起業すること**

日本の建設の技術を勉強して、ベトナムで起業したいと思って来日しました。ベトナムでは建設会社に就職しても、研修を受ける機会はほとんどありません。日本の建設業はベトナムに比べて、安全面や教育面がしっかりしているとあらためて思いました。

**世界でも技術力が高い日本で多くのことを学びたい!**

親戚が日本の建設会社で働いた経験があり、日本人がやさしくて親切であることは聞いていました。何より仕事が安定していて、多くの作業を任せてもらえるとも話していました。世界的に見ても日本の技術力が高いのは間違いありません。帰国までに多くのことを吸収したいです。



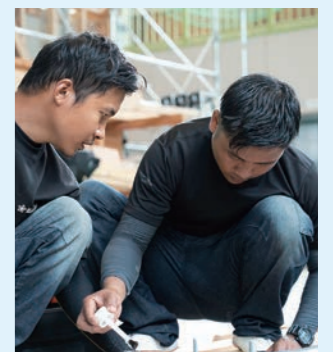
★ ゾウさん  
(ミャンマー)

**母国の家族の生活を支援したい**

来日のきっかけは、日本でたくさん稼いで、ミャンマーにいる家族の生計を少しでも援助したいと思ったからです。日本の技術力の高さはミャンマーでも有名で、例えば車やカメラなど、日本製の商品は人気があります。そんな日本で働けるのが楽しみです。

**「日本の技術の世界へ広める」社長の夢に共感**

私が就職した受入企業は、ミャンマーにも建設会社を設立しています。面接で社長から「帰国したらミャンマーの会社で働いてほしい、一緒に日本の技術の世界へ広めよう」と誘われたのがとてもうれしかった。研修は大変と感ずることもありますが、講師や先輩が励ましてくれるので最後までがんばります。



利根沼田テクノアカデミー内には、より実践に近い訓練を行える設備や、居住空間が整えられています。

## FACILITY 施設紹介



**ビス打ち** 屋外実習場では、職人の基本であるビス打ちの精度を高める訓練を行う。



**配管** グラウンドには、外部配管・内部配管などを行える模擬住宅が建てられている。



**歩行訓練** 高所で安全かつスピーディーに歩行するため、実際の鉄骨などを渡り訓練する。



**体育館** 体育館の中には建屋なども設置されており、雨天でも問題なく訓練が行える。



**部屋** 集団生活になるため、部屋には仕切りをおいて個室スペースを設けている。



**食堂** かつての教室だったところを改装し、訓練生が利用できる食堂を設置。

## わたしの視点 ～ my point of view ～

# 彼らの気持ちがわかるからこそ、 できるだけ一緒に考えてあげたい

黒澤工業株式会社 管理部安全課 課長

小林 有希子 氏

小林さんは社内のベトナム人の世話役として、まるで母親のように彼らをサポートし、毎日のようにコミュニケーションを取っています。今回は、外国人と接する際の工夫や、日々の交流について伺いました。

### 入社後、日常で使う話し言葉を 再教育する

—ベトナム人とコミュニケーションを取ることは大変ですか？

実家が農家で技能実習生を受け入れていたので、幼い頃からさまざまな国の人と接する機会が多くありました。その影響からか、当社のベトナム人が話すつたない日本語も、私にはなんとなくわかるんです。そうした意味では、特に大変だとは思いません。

—言葉を教える中で気をつけていることはありますか？

日本語を勉強してから来日する外国人は、標準語を覚えてくることがほとんどです。でも、茨城県にある私たちの会社では茨城弁を話すので、そのままだと通じません。

そこで、入社してからは方言も覚えてもらっています。

—標準語ではなく、日常で使っている会話を教えているのですね

例えば、本当に危ない時に「危ないですよ」とは言わないでしょう。「危ねえ！」など、強い口調になってしまうと思うので、そうした物言いも普段から教えています。

### SNSを活用してコミュニケーションを 活発化

—コミュニケーションの取り方で工夫していることは？

来日したばかりだと日本語で話すことが難しいので、FacebookメッセージなどのSNSを使ってベトナム語

で送ってもらい、私がネットで翻訳して「こういうこと？」とベトナム語で返す、というやりとりをしています。そうすると、会話では伝えられなかったこともたくさん送ってくれるんです。

—やはり母国語だと質問しやすいのでしょうか？

間違いなくそうだと思います。わからないものを撮影して送ってくることもあって、例えば「これは何の食べ物ですか？」と、食材について質問してくる人もいます。おそらく買い物途中に見慣れない食材を見つけたんだと思います。

—まるで「日本のお母さん」ですね

ほかにも恋人に化粧品をプレゼントしたいけど、化粧水と乳液の使い方がわからないとか、バックとコットンの使い方がわからないといった相談がきたこともあります。だから、私の持ち物を使って、動画で「まずこれを一番にやります」と、使い方を教えたりもして。喜んでくれるので、そんなやりとりも楽しんでいます。

### モラルや小さな気遣いを 教えるのが一番難しい

—仕事面での相談がくることはありますか？

私は専門的な知識がないので仕事のアドバイスはできませんが、言葉についての相談なら受けています。特に多いのが「今日、現場で日本人に言われた言葉がわからない」というもの。ひとまず理解できなかったらメモしてSNSで送るように伝えています。

—教える中で特に難しいと感じるものはありますか？

モラルについては難しいと思う時が多々あります。例えば現場に向かう車中、寝ても良いか、悪いか。この問題に対して何が正解かは、正直難しいところです。そこで、疲れて寝そうなら、運転している日本人に「すみません、少し寝てもいいですか？」と、必ず声掛けするように私は指導しています。そうした小さな気遣いなどは、できるだけ一緒に考えてあげています。

(2022年9月29日取材)

## わたしの視点 ～ my point of view ～

# 文化や習慣の違いはお互い様、 だから理解し合うことが必要なのです

株式会社兼藤 リニューアル三部 係長  
伊藤 一敏 氏

受入れを開始した当初、外国人に対する知識がまったくない状態から育成を担当したという伊藤さん。これまでどんなことに苦労して、それを乗り越えるためにどのような工夫をしたのか。詳しく伺いました。

### 何から始めて良いかわからず、 手探りでのスタート

— 受入れを始める前にどんな準備をしましたか？

社長の知り合いに外国人を受け入れている企業があったので、当社にお招きして指導方法などを教わりました。特に、現場に出る前に基礎的な作業を教える実習場の確保が急務だったので、その作り方でも貴重なアドバイスをいただきました。

— 実習場では具体的にどのようなことを教えているのですか？

受入れ後に30日ほどの研修期間を設けていて、実習場でパテの塗り方やクロスの貼り方といった実践的な作業を指導しています。また、カッターやハケ、腰袋、スポンジ、

ノリなど作業で使う道具一式を表にしたものを手渡し、一つひとつの名称を覚えてもらっています。

### 時間を守ることの大切さを教えるのは 大変だった

— 作業を指導する中で大変だったことはなんですか？

外国人は時間にルーズなので、そこはかなりしっかり注意しました。例えば実習場に8時集合なら、10分前には着いて掃除をし、身なりを整え、8時ちょうどに作業をスタートできるように準備しておく。仕事をする上で遅刻は厳禁です。遅れることなく、時間通りに指定された場にいなければ信用は得られません。そのような習慣を理解してもらうのは大変でした。

— 現場での安全対策はどうしていましたか？

現場には入ってはいけない区画があるので、とにかくそこには入らせないようにしてほしいと、職長をお願いしていました。とはいえ、日本語で「そこに入っちゃダメ」と言われても、意味が通じません。そこで、「職長に言われた動線以外は通らないこと」をルールにして、本人たちに強く伝えていました。

### 「何かあった?」と声を かけ続けることが何よりも大切

— 生活面で注意していたことは？

最初は寮を汚していました。そもそも私たち日本人とは感覚が違うみたいで、私にとってはちらかっていても、彼らからすればそれが普通なんです。だから、「きれい」の基準を知ってもらうためにも、実習場での掃除はとても大切な工程の一つでした。現在もですが、仕事を通して片付ける習慣を身につけてもらっています。

— やはり日本と海外では文化や習慣の違いがある？

特にミャンマーは宗教の種類が多いんです。イスラム教だったり、ヒンドゥー教だったり、それぞれ宗派が違います。また、人種も中国系やインド系とさまざま。それによって考え方や食べられるものも違います。

— 理解してあげることが大切ですね

その通りです。まだ日本の文化や習慣が理解できていないうちに、一方的に叱られたら腹が立つこともあるでしょう。彼らも私たちに言いたいことがあるはず。だからこそ、日々の生活の中で「何かあった?」「嫌なことはある?」と、声をかけ続けることが何よりも大切だと思っています。

(2022年10月24日取材)

## わたしの視点 ～ my point of view ～

彼らはロボットではない、  
伸び伸びと育ててあげてほしい

株式会社ハヤブサコーポレーション 株式会社隼ビルド 統括責任者  
岡本 啓志 氏

2004年から受入れをスタートし、これまで多くのベトナム人を指導してきた岡本さん。受入れ当初の様子から、育成や採用についてなど、幅広くお話を伺いました。

### 「日本のお父さん」として、 無事に帰国させる義務がある

— 受入れ当初、不安はありましたか？

一番気にしていたのが寮生活での人間関係でした。男同士だと、どうしても上下関係が生まれてしまうことがあります。万が一、いじめなどが起きやすいか心配で、事あるごとに寮へ顔を出していました。私も受け入れた以上、「日本のお父さん」のつもりで彼らと接しています。仕事でも生活でもトラブルなく、五体満足に帰国させるのが私の責任だと思っています。

— 育成については順調だったのでしょうか？

最初に受け入れたのは中国人で、とても努力家だったこともあって問題なく順調でした。ただ、今振り返ると、1期生に関しては育成に何かと力を入れ過ぎていたと思います。

仕事はもちろん、日本語も教えないといけない、日本の文化や習慣も伝えないといけないと、あれやこれやと口を出し過ぎていた。もう少し柔軟に伸び伸びと育ててあげればよかったと反省しています。

### 得手不得手を見極め、 個性を活かせるポジションへ

— これまでの育成経験の中で気づきはありましたか？

受入れを続けてきたからこそわかったことは、ある程度は自由にさせることも必要だということです。仕事ではこちらが口出ししなくても自分で考えて作業をしていますし、物事の良し悪しもきちんと判断がついている。つい外国人という大きな括りで見えてしまいがちですが、彼らはロボットではない。それぞれ個性があって、最初からできる人も

いれば、そうではない人もいます。得手不得手を見極めて、自分を活かせるポジションで働かせてあげることが大事だと考えています。

— ひとりひとりが活躍できる場所をつくってあげることが大事ですね

それは日本人の若い職人でも同じです。彼らが望んでいることを汲み取ってあげれば、がんばってくれますから。今から17年前に受け入れた1期生の中国人は、いまだに正月になると電話をくれます。「元気にしていますか？」と、時間が経ってほとんど忘れてしまった日本語で一所懸命に話してくれて、本当にかわいくて仕方がありません。そうした関係性を作れるかどうかは、こちらの姿勢一つではないでしょうか。

### リアルな生活を見て、 国民性や慣習などを感じ取ってほしい

— 受入れを検討している他社にメッセージをお願いします

最初から過度に期待しないことが大事かもしれません。初めは仕事ができないのは当然ですし、日本語も話せません。それでも即戦力として扱おうとするから、できないことに腹が立ってしまう。ただ、個人差はあるので、そうした意味では面接で、より一層やる気を持っている人を見極めることは大切でしょう。

— 採用についてアドバイスするなら、どんなことが挙げられますか？

例えばベトナム人を本当に理解するには、彼らの故郷のインフラはどうなっているのか、どんな食事をして、どんな服装をしているか。そうしたリアルな生活を自分の目で見て、国民性や慣習などを感じ取ることから始めてほしいですね。できれば、受け入れる人の実家にも訪問してほしい。そこまですれば、きっと彼らと良好な付き合いができると思います。

(2022年7月23日取材)

# 外国人材の建設キャリア Future

海外で働くことは、人生において大きなチャレンジです。特定技能外国人は、どんな経験を経て「今」にいたるのか。「この先」にどんな夢を見据えているのか。チャレンジャーたちのキャリアをご紹介します。



黒澤工業株式会社  
氏名 **TRAN VAN HA**  
愛称 **ハ一さん(30歳)**  
実習生入国日:2015年12月1日  
実習生終了日:2021年2月4日  
特定技能開始日:2021年2月5日  
滞在期間:7年目  
出身:ベトナム



## 工場や現場で見習いをしながら仕事を学ぶ

会社に併設されている工場ダクトの切断、組立てなど簡単な作業に従事していました。その後、2カ月ほどで現場へ出て、先輩に工具を渡したり、作業の補助をしたりとサポートしながら仕事を覚えていきました。



職長となった今  
家族のために  
もっと進化したい!

## 技能士検定2級を受験し見事合格! さらなる高みへ

4年目に2級建築板金技能士の試験にチャレンジし、合格することができました。実技についてはある程度の自信があったのですが、日本語の読み書きに少し不安がありました。「きつと無理だろうな……」と思っていたので合格した時は本当に驚いたし、最高の気分でした。資格を取得したことで、現場でも職長を任せてもらえるようになったのですが、今振り返ると、実力的にはまだまだだったと思います。



先輩社員  
小林さんから  
メッセージ



管理部安全課 課長  
小林 有希子 氏

農業をしている彼のお父さんが、仕事中に怪我をしてしまったことがあります。それで急遽ベトナムへ帰ることになりました。彼は本当に家族を愛しているので、とてもショックな出来事だったはず。働けなくなったお父さんのためにまだまだ日本でがんばりたいと言っています。そんな彼のために、私も世話役として全力でサポートしていきたいと思います。

いつか日本で家族旅行がしたいです。父や母に東京タワーや大阪城を見せてあげたい!

私の夢

現在

現在、父が怪我をして働けない状況です。だからこそ、その分、私が日本でがんばって家族を支えていきたいです!

職人として  
活躍の場を広げたい!

「建築板金(ダクト板金作業)」の建設分野特定技能1号評価試験を受験。合格し特定技能1号の在留資格を取得。



## 図面が読めるようになり、作業の難易度もアップ!

工場での作業では比較的組立てが簡単な直管から、S字に加工されたS管を扱うようになり、難易度も上がっていきました。また、現場でも仕事に慣れてくると、実際に高所作業車に乗って、高い場所でダクトを設置する作業を任せてもらえるようになりました。3年目には図面を読めるようになり、できることが増えるにつれて自信もついていきました。



来日前

## 大学でダクト工事を知り、来日を決意

幼い頃は体が弱く、毎日のように医者に診てもらっていました。父と母はとてもやさしくて、病院で注射を打った帰りは必ずお菓子を買ってくれたのを覚えています。ベトナムの大学に在学中、ダクト工事の仕事を知ったのがきっかけで興味が湧き、今の仕事を選びました。

父、母、3人の姉兄の応援を受けていざ日本へ!



# Future

外国人材の建設キャリア

海外で働くことは、人生において大きなチャレンジです。特定技能外国人は、どんな経験を経て「今」にいたっているのか、「この先」にどんな夢を見据えているのか。チャレンジャーたちのキャリアをご紹介します。



株式会社兼藤  
氏名 **SOE KHANT MAW**  
愛称 **サトシさん(30歳)**  
実習生入国日:2015年8月5日  
実習生終了日:2020年11月30日  
特定技能開始日:2021年3月3日  
滞在期間:8年目  
出身:ミャンマー



仲間と励まし合い  
真面目に努力すれば  
必ずうまくいく!

## 価値観や言葉の違いに困惑

日本に来てまず驚いたのが、時間に対する厳しさです。例えばお昼休憩もびったり1時間を守ります。ミャンマー人はそれほど時間にうるさくないので、平気でオーバーしてしまいます。日本の価値観に慣れるまでに少し時間がかかりました。また、苦労したのが日本語です。来日前に少し勉強していましたが、ほとんど通用しませんでした。

入社

来日

来日前

30人以上が面接を受け、  
わずか3人の合格者のうちの  
一人として来日



## 少しでも早く自立したくて 日本行きを決意

実家は洋服店で、子どもの頃からレジや店番などの手伝いをしていました。でも、お店を継ぐのではなく、大人になるにつれて早く自立したいと思うようになり、日本で働くことを決意しました。



技能実習生  
1~3年目

23歳

結婚

26歳

技能実習生  
4~5年目

ミャンマーで  
結婚式をあげま  
した。



特定技能  
外国人  
2年目

29歳

## 作業難易度が上がり 緊張感を持って臨む

比較的簡単なビニールクロスの貼付けから、扱いが難しい布クロスの貼付けを任されるようになりました。布クロスは価格がとても高く、水に濡らしてはいけない、糊や汚れは絶対NGと、慎重な作業が求められます。より緊張感を持って作業に臨んでいました。でも、時には失敗してやり直しになることもありました。



## 慣れない生活に仲間と励まし合う日々



仕事はすべてが初めてのことで、想像以上に大変でした。1カ月の間、実習場で基礎的な作業を学ぶ研修を受けたのですが、その時に親身になって教えてくれたのが係長の伊藤さんです。私たち1期生は何もわかっていない状態で教わっていたので、伊藤さんも苦労したと思います。現場では最初にサンドペーパーをかける作業から始めました。力が必要なので、筋肉痛になってつらかったのを覚えています。慣れるのには1年ほどかかりましたが、教わったことを忘れないようにと、仕事にメモしたことを現場への行き帰りの電車で、何度も見返すなど努力は続けていました。うまくいかないことがあると、寮で一緒だったほかの1期生と励まし合っていましたね。



## 技能資格や運転免許を取得するのが目標!



先日、初めてクロス技術を競い合う競技大会に参加しました。残念ながら入賞することはできませんでしたが、とても大きな経験となりました。今は1級表装技能士の資格はもちろん、最終的な目標として、日本語能力試験の1級や普通運転免許も取得したいです!

現在

これからも日本でさらに高い技術を学びたいですし、家族のためにもっと稼ぎたくて国家資格の2級表装技能士を取得しました!



2級表装技能士取得!!

先輩社員  
伊藤さんから  
メッセージ



リニューアル三部 係長  
伊藤 一敏 氏

私は、外国人はおろか日本人にも指導した経験がなく、受入れは手探りでスタートでした。ですから、サトシたち1期生とは一緒に成長してきたと思っています。彼らとは言葉でのコミュニケーションがとれなかったので、通訳に来てもらい、身振り手振りを交えながら少しずつ教えていきました。難しい作業をサトシはよく学んでいったと思います。真面目に努力したからこそ、今の彼の实力があるのだと感心しています。

外国人就労者と  
受入企業に  
聞いてみた!

アンケートから読み取る

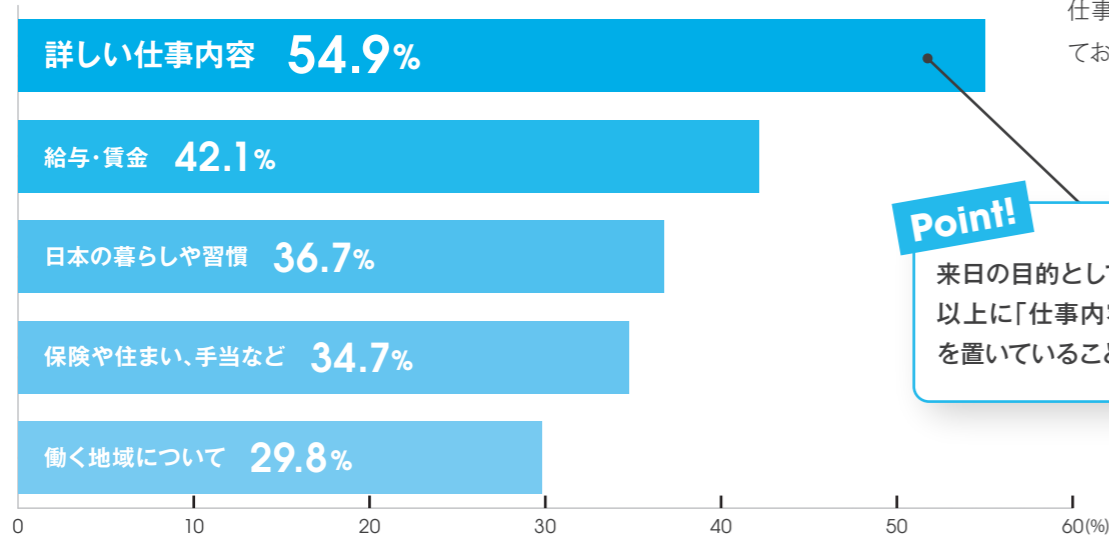
となりの



## 外国人就労者のホンネ

こんなサポートしてほしい!

### Q 入社時に詳しく知りたかったこと



※JAC会員企業の外国人就労者の回答です。

賃金を始めとした労働条件や慣れない地での生活環境よりも、詳しい仕事内容を知りたい人が半数を超えており、高い労働意欲が伺えます。

Point!

来日の目的として、「賃金」以上に「仕事内容」に重きを置いていることがわかる

## 就労環境について思うことは?

人の価値観はさまざま、職場になるとそれぞれの立場があり、考え方は異なります。ましてや、日本人と外国人では環境や文化の違いもあって、物事の捉え方は違って当然。だからこそ、一方的な「見方」ではなく、相手の立場になって考えることが大切です。JACが実施したアンケート結果から、それぞれの「ホンネ」を見ていきます。

期間: 2022年9月30日~11月2日  
対象: JAC賛助会員及び国交省システム登録企業(5,604社)  
方法: インターネットとメールによるアンケート(複数回答方式)  
回答数: 外国人就労者1,315名 受入企業1,585名

## 受入企業のホンネ



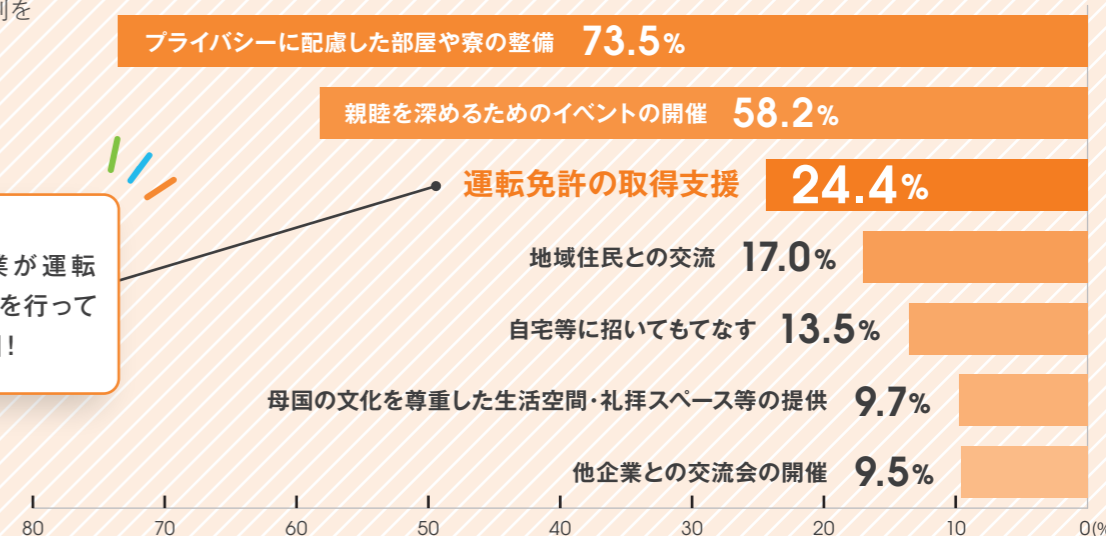
こんな努力をしています!

### Q 特定技能外国人が日本の生活に慣れるための取組

住む場所を確保している企業が少なくない中、さらに「プライバシーに配慮した」環境を整えている企業は7割を超えています。

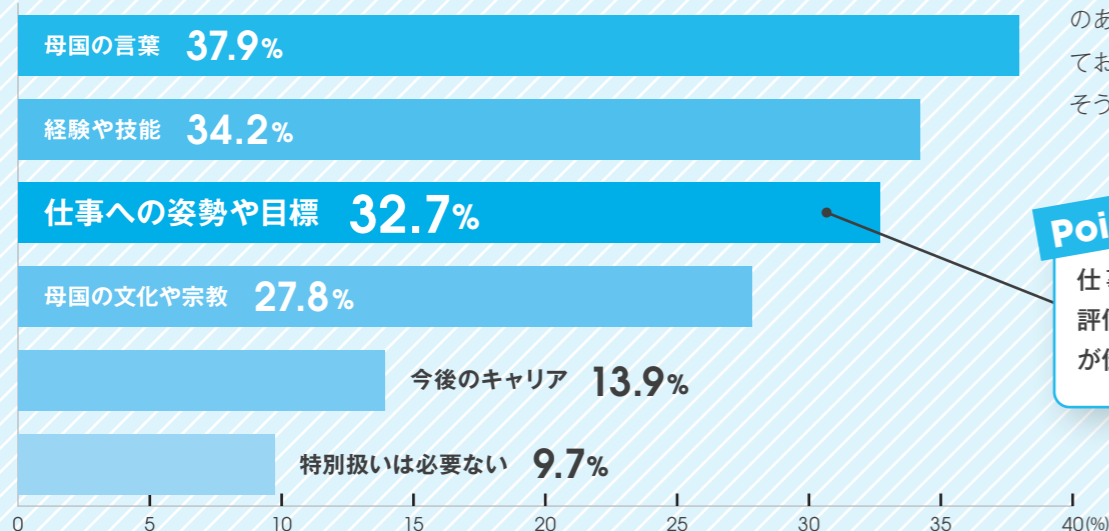
Point!

2割以上の企業が運転免許の取得支援を行っている点にも要注目!



※JAC会員企業の特定技能外国人についての回答です。

### Q 日本人の同僚に知ってもらいたいこと



※JAC会員企業の外国人就労者の回答です。

自国の言葉を知ってほしいという意見は見逃せず、外国人就労者の国のあいさつや簡単な言葉などを覚えておくと、より一層深い関係が築けそうです。

Point!

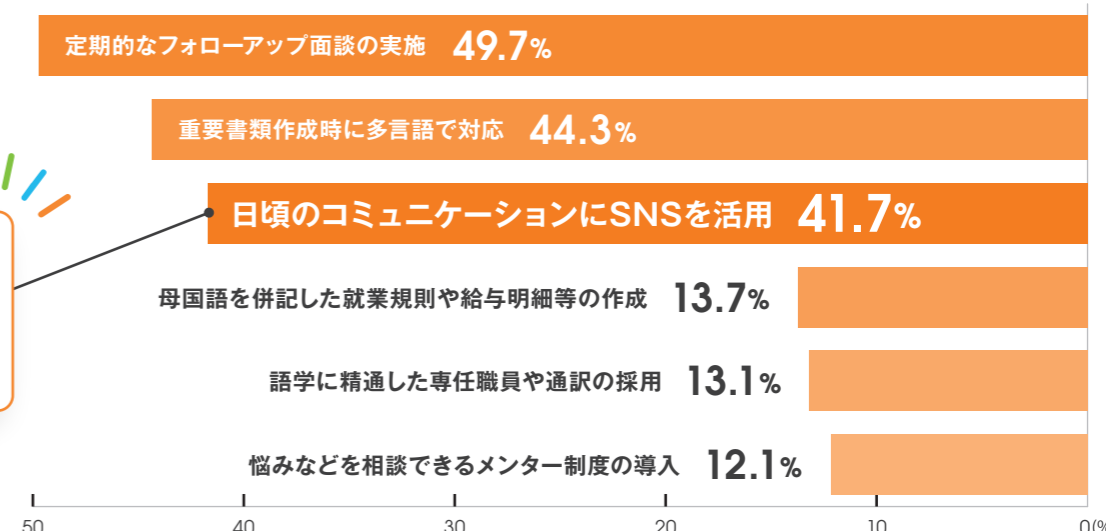
仕事の取り組み姿勢を評価してほしいという思いが伝わってくる

約半数の企業がフォローアップ面談を定期的に行っており、積極的に外国人就労者の仕事や生活での課題・悩みに対応していることがわかります。

Point!

普段のコミュニケーションにSNSを活用する企業は少ない

### Q 特定技能外国人をサポートするための業務上の取組



※JAC会員企業の特定技能外国人についての回答です。